

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県農村整備建設協会（群馬農村整備協会、青柳剛会長）は、10月に前橋市内で発生した豚熱（CSF）に対する防疫業務に関し、群馬県からの感謝状を受領した。山本一太 橋支部と群馬農村整備協会 知事名で両協会へ、角田淑 前橋分会にそれぞれ贈呈さ江農政部長名で群馬建協前

柳会長は「両団体でしっかりと対応できた。次の備えに生かしたい」と謝辞を述べた。その上で「この1年で感慨深いのは知事が建設業をエッセンシャルワーカーとして明確にしてくれたこと。エッセンシャルワーカーを維持する予算措置が大事になる」と話した。

## 群馬建協らに県が感謝状

### 前橋市の豚熱防疫業務で

14日に前橋市の群馬建設会館で行われた贈呈式で、

倉澤政則群馬県農政副部

長は「重要産業の養豚業を

守るため、大変な協力をい

ただき、心より感謝申し上げる」と謝意を示した。青

.....

泉野高志群馬建協前橋支部

長

前橋市のCSFは2020年秋の高崎市内の発生に続いて県内4例目。前橋市では今年4月にも発生した。群馬建協などは5例目となる桐生市の事案にも対応した。



青柳会長と倉澤副部長



長

## 群馬建協に感謝状

### 豚熱対応で県

群馬県は、10月に前橋市で豚熱防疫作業に従事した群馬県建設業協会（青柳剛会長）に感謝状を贈った。県農政部の倉澤政則副部長が知事代理として14日に同市の群馬建設会館を訪れ、青柳会長に感謝状を手渡した。写真。



倉澤副部長は「建設業協会と前橋支部にはそれぞれCSF（豚熱）災害対策本部を設置していただき、埋却溝の掘削や殺処分された豚の積み込み、運搬、投入、雨水排水溝の設置などスムーズに丁寧な作業をしていただいた。おかげさまで約4000頭の防疫措置を無事に終えることができた」と謝辞を述べた。

青柳会長は「感謝状をいただいたことを会員各社に伝え、次の備えにしっかり反映していきたい」とあいさつした。

このほか、群馬県農村整備建設協会、群馬建協前橋支部、県農村整備建設協会前橋分会にも感謝状を贈呈した。